

資本論 23 章第 5 節「資本主義的蓄積の一般的法則の例証」

移動民・労働者階級中の最高級部分におよぼす恐慌の影響

月岡 大次郎
2014 年 7 月 10 日

C 移動民

S.693-697 工業的な仕事に従事する農民出身の人民層・疫病・住宅事情

・農民出身の人民層が担う「移動労働は、さまざまな建設・排水作業、煉瓦製造、石灰製造、鉄道敷設などに使用される。」

・彼らは「天然痘、チフス、コレラ、猩紅熱などを輸入する」

・「資本投下の大きい企業では、たいてい企業家自身が、自分の部隊に木造小屋のたぐいを提供」

「彼(請負業者)は、労働者を産業兵士として、また借家人として、二重に搾取する」

○セヴンオウクス教区議長からの告発

・請負人が建てた「小屋は、換気装置も排水施設もなく、過密」

○炭鉱その他の鉱山の労働者とその住宅事情

・「炭鉱その他の鉱山の労働者、イギリスのプロレタリアートのうちで最高級の部類に属する」
「採鉱業者は労働者用の”小屋”を建てる。それらは、賃金の”現物”支給部分をなす」

・「採鉱地域は鉱山人口そのものおよびその周辺に群がり集まる手工業者や小商人などからなる一大人口を引き寄せる」

・人口稠密地域では「地代が高い」

○医師の証言

・「抗夫はすべて、十二ヶ月のあいだ、鉱山の賃借人または所有者に契約で縛りつけられている」

・「現物支給制度のどれ一つとして、この人口稠密地域で支配しているものより悪いものはありえないように思われる」

・「労働者はまた、彼の所有者から給水も受ける」

○資本の態度

「世論」またはさらに衛生警察と衝突しようとも、資本は、それが労働者の機能および家庭生活を呪縛する、一方では危険で、他方では屈辱的な諸条件を、労働者を有利に搾取するにはそれらが必要であるとして、「弁護する」ことを決してためらわない」

・サイモン医師の報告書

鉱山賃借人が「労働者の快適な部落を設ける」ことにたいし、土地所有者は「法外な割り増し賃料を要求する」

「土地所有権原が公的不正を犯すのに大いに利用されている。」

「鉱山賃借人は、地表所有者の諸要求が法外であっても、その結果が自分の身にふりかかりは」せず、ふりかかるのは労働者

D 労働者階級中の最高級部分におよぼす恐慌の影響

S.697-699 1866年恐慌の影響

○恐慌が労働者貴族にどのような影響を及ぼすか—金融的性格を帯びた1866年の恐慌—

- ・ロンドン東部ポプラーの労役場

扶助をうける7000人の人々。そのうちの数百人はイギリスの「熟練労働の最高賃金をかせいでいた」

S.700-701 ベルギー労働者の「幸福」

・イギリス資本家は「労働の自由」が「労働組合」の専制によっても工場法によっても侵害されていないという理由で、ベルギーを労働者の楽園として描く」

- ・6人家族のうち、「4人は一年中有用な仕事につかされうる」

前提：労働不能者，病人の不在，奢侈その他の余計な支出がない

- ・「水平や兵士の栄養どころか，囚人の栄養すら，とりうる労働者の家族がほとんどない」

「生活手段の価格がほんのわずか上がったり，仕事が途絶えたり，病気になったりすれば，労働者の貧困が増して彼は完全に破滅してしまう」

疑問点

- ・「都市および農村の小中間階級の大部分は絶えずプロレタリアートに転落しつつある」(S.701)

資本主義の下では，独立小生産者はプロレタリアートに必ず転落すると読んで良いか。

・この節の例は「資本主義的蓄積の絶対的・一般的な法則」(S.674)の例証として挙げられているが，そのようになっていると言って良いか。マルクスの言う「資本主義的蓄積の絶対的・一般的な法則」の内実は何か。

・資本は，受救貧民の負担を労働者階級および下層中間階級の肩に転嫁する(S.673)，としていた様に思うが，これは資本主義的な法則として考えて良いのか。